

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 36
2018.12月号



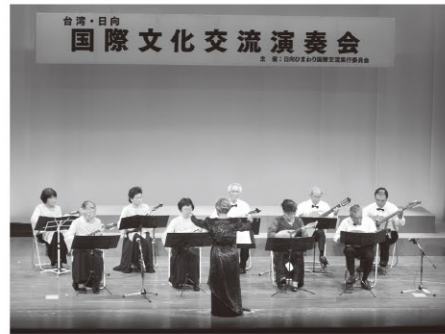
自治公民館対抗 グラウンド・ゴルフ大会（主催：日向市区長公民館長連合会）
※詳細はP 2をご覧ください。



P 2	自治公民館対抗 グラウンド・ゴルフ大会！！
P 3	日向市市民まちづくり支援事業
P 4～5	新しい地域コミュニティ組織制度事業 〇4地区の動き
P 6	国際交流NEWS
P 7	人財づくり事業「日向ドラゴンアカデミー」
P 8	日向市ひまわり基金事業 市民活動助成事業 「地域と市民活動フェスタ」のご案内

日向市市民まちづくり支援事業

元気で活力あるまちづくりを推進するため、市民が自ら企画提案し実施する、まちづくり事業の経費の一部に対して補助金を交付する「日向市市民まちづくり支援事業」を実施しています。



国際文化交流演奏会



大王谷農業小学校



日向木挽唄全国大会

■平成30年度下半期の採択事業を紹介します

団体名	事業名	総事業費	補助金申請額	審査会査定額	事業内容
まちなかハロウィン実行委員会	まちなかハロウィン2018	1,397,000	430,000	345,000	中心市街地をステージに、こども達が主役となって「ハロウィン」をテーマに街なかでの様々な体験を通して、街を愛する「心」を育てる。
日向商工会議所女性会	100万人のキャンドルナイト〜ひゅうがの灯り2018	577,000	180,000	133,000	地球温暖化防止活動及びエコ活動の一環として環境問題やエネルギー節約への関心を高めてもらうことと併せて、地域振興と中心市街地の活性化による世代間交流人口の増加を目的とする。
あくがれて牧水実行委員会	第12回なりきり牧水〜牧水のふるさと坪谷の秋に 時空を超えて〜	390,000	162,000	118,000	地域の宝としての歌人「若山牧水」の生誕地である「坪谷」の自然や文化等の資源を活かしながら、体験型観光プログラムの実践を通じ、牧水のふるさとのアピールと住民主体の地域活性化の取り組みを推進する。
高森文夫顕彰会	高森文夫詩碑建設事業	3,830,000	3,200,000	3,135,000	詩人高森文夫の偉業を後世に伝え、高森が築いた文学の故郷の道標として詩碑を建設する。また、詩碑を広く市民や関係者に周知し、今後の顕彰活動に繋げるため、除幕式を行う。さらに、毎年、詩碑祭を実施していく。

平成31年度上半期 企画提案事業の募集を行います!

- 『日向市市民まちづくり支援事業』の平成31年度上半期事業を平成31年2月1日から2月15日まで募集します。
- ※平成31年度から、交付要綱が改正となり、募集事業名や補助限度額等が、次のとおり変更となります。
- ① **地域づくり事業**
コミュニティの活性及び醸成につながる事業（祭り、運動会、交流会、祝賀会の類は除く）。（補助率3/4以内、限度額50万円）
 - ② **地域のにぎわい創出事業**
市内全域を対象とする祭り、講演会、シンポジウム、スポーツ大会、文化芸術の発表会、展覧会等のイベント及び文化芸術として、将来に継承すべき伝統的イベント（補助率1/2以内、限度額50万円）
 - ③ **地域づくり整備事業**
①の地域づくり事業と合わせて実施することが条件。事業をより発展的・効果的に行うために必要な施設等の新築、改修事業。（補助率10/10以内、限度額400万円）
- 問い合わせ先
日向市地域コミュニティ課
0982-661005

自治公民館対抗 グラウンド・ゴルフ大会!!

団体の部

優勝	庄手区	(186打)
準優勝	南町区	(203打)
第3位	石並区	(206打)
第4位	曾根A区	(207打)
第5位	亀崎中区	(208打)
第6位	本谷区	(212打)
第6位	切島山1区	(212打)
第6位	下原町区	(212打)
第9位	高見橋通り区	(213打)
第9位	川路区	(213打)
第9位	秋山区	(213打)
第9位	花ヶ丘区	(213打)

優勝 庄手区公民館



個人の部

優勝	橋本 康央さん	庄手区	(30打)
準優勝	中川 与市さん	高見橋通り区	(33打)
第3位	児玉 久幸さん	石並区	(36打)

10月11日（木）、日向岬グリーンパークで、日向市区長公民館長連合会主催の「第21回自治公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

当日は60地区から62チーム369名が選手として参加し、団体戦、個人戦で上位入賞を競いました。

当日はどんよりとした曇り空でしたが、選手たちの熱気と笑い声で、会場は大いに盛り上がりました。

優勝した庄手区公民館は、2位に大差をつけた完全勝利でした。6回という驚異のホールインワン数が勝負の決め手となったようです。また、2位に続いた南町区公民館も、前大会の優勝チームと同じ打数ですので、今大会のレベルの高さがうかがえます。



◆細島地区の取り組み

【ひょうとご祭り夕食おもてなし】

日向ひょうとご祭りに合わせて実施されるモニターツアーの夕食おもてなしは8月4日（土）、御鉢ヶ浦公園キャンプ場で行われました。



この取り組みは、ツアーの参加者を、細島特産の岩ガキや郷土料理のごんぐり、新鮮な刺身など細島ならではの海鮮料理でもてなすもので、今年で6回目となりました。港町の美しい景色と潮風の中、細島の魅力を満喫した参加者からは「料理も雰囲気も最高。ぜひ来年も参加したい」と大変好評でした。

【細島納涼盆踊り大会】

細島納涼盆踊り大会は8月18日（土）、細島みなと資料館駐車場で開催されました。多くの地域住民が太鼓と唄の音や踊りを楽しみながら思い出話などに花を咲かせ、笑顔の絶えない夜になりました。協議会では、今後もこのような活動を通して、伝統芸能の継承に努めていきます。



【第八回細島芸術祭】

毎年、秋季例大祭に合わせて行われる細島芸術祭は11月10日（土）・11日（日）に細島小学校の体育館で開催されました。



今回で8回目の開催となるこのイベントは、年々出展数・来場者数が増え、協議会の一大イベントとして定着してきました。今年は約300点の出展があり、2日間では400名以上の方が来場されました。イベントを主催する青少年育成部会で作成したプラノドンの骨格模型を天井から吊るして展示するなど新たな取り組みも加え、例年以上に賑わっており、来場された方からは「普段なかなか触れる機会のない芸術作品を身近に感じることができ、感動した」「細島地区内にこんなにも芸術活動をされている方がいることに驚いた」などの感想がありました。



◆平岩地区の取り組み

【ふれあい朝市】

9月2日（日）、南日向コミュニティセンター前広場で、ふれあい朝市が開催されました。朝市では、夏野菜のほか、木工品、盆栽など、10店ほどの出店がありました。また、新米コシヒカリとかき氷のふるまいや、平岩農業小学校の子どもたちによる、育てたナスの販売なども行われ、会場は大変賑わっていました。



【グラウンド・ゴルフ大会】

9月9日（日）、サンドーム日向でグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。今回は、18チーム、約130名の参加があり、会場は熱気に包まれていました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。結果は、次のとおりです。（※①1位、②2位、③3位）

- 団体の部
①金ヶ浜 A ②笹野中 A ③鶴毛 B



- 個人の部
①甲斐靖朗さん（金ヶ浜）
②釘宮昌平さん（金ヶ浜）
③児玉満さん（笹野中）

【稲刈り体験】

10月13日（土）、農業体験学習の一環として稲刈り体験を実施しました。6月に植えた苗は、台風にも負けず、大きく成長し、しっかりと稲穂を实らせていました。子どもたちは、大人たちに教わりながら、一生懸命稲を刈っていました。稲を刈った後は、掛け干し体験も行いました。次の農業体験学習は、12月に行われる「もちつき」です。子どもたちには、将来、ぜひ平岩の農業を担う人財に育ってほしいですね。



【杵木白太鼓踊り】

一時、後継者不足のため披露されていなかった伝統芸能「杵木白太鼓踊り」が、今年、地区の若者たちによって再興され、各イベントで披露されています。ぜひご注目ください。



◆塩見地区の取り組み

【自然災害に備えよう！】

昨今、自然災害が頻発していることを受けて、8月18日（土）に「しおみ親子防災教室」を開催しました。講師は塩見出身で、ボランティア研修などを受講し、経験豊富な鈴木浩さんと浅利政広さんです。市農村交流館に集まった参加者たちは、新聞紙でスリッパを作成する方法を学んだり、ブルーシートを利用した三角テント作りに挑戦したりしました。



【10年後の塩見を考える！】

平成22年9月に発足した塩見まちづくり協議会は、来年度で10年目を迎えます。節目を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返るとともに、これからの10年間で充実したものにするため、9月20日（木）に「10年後の塩見を語るワークショップ」を開催しました。

塩見地区住民の皆さんの参加のもと、これまで協議会で取り組んできた「ブルーベリー葉の栽培」や「塩見ウォークの開催」、「放課後子ども教室の開校」などの活動を振り返り、良かった点や今後の課題を話し合いました。

なお、このワークショップで出された意見は「第2次塩見まちおこし計画」としてまとめられ、今後の活動の指針となります。



【今年も秋を実感です！】

秋の恒例行事であるカライモ収穫祭が11月3日（土）、協議会の畑で開催されました。地域から約40名が参加し、年に一度の収穫を楽しみました。



今年の「デカイモランキング」では1.3kgのデカイモを収穫した女の子が優勝したほか、団子や恐竜などの面白い形のイモを採す企画でも会場が盛り上がりま

◆東郷地区の取り組み

【健康ミニバレーボール大会】

福祉・健康づくり部会では、9月9日（日）にミニバレーボール大会を開催しました。今年は、8区10チームが参加し、3パートに分かれ、熱戦を繰り広げました。

雨の降るあいにくの天気でしたが、応援の方もたくさん来られ、交流を深め、大会終了後は、各地区では温泉や焼肉会等で打ち上げを行い、大変盛り上がりつつあったようです。



【通学路の看板作製】

青少年育成部会では、7月12日（木）に通学路の安全対策として、新しく「飛び出し注意」の看板を作製しました。

当日は、東郷学園と坪谷小学校の3・4年生31人が参加し、1枚ずつ、丁寧に作業を進め、全部で30基の看板の色塗りを行いました。完成した看板は、通学路の危険個所に随時設置していく予定です。



【アダプト花壇に花の植栽】

地域もありあげ部会では、7月21日（土）に道の駅とうごう交差点にあるアダプト花壇に、日日草などの花の植え付けを行いました。また、今回は初めての試みとして道の駅とうごうの国道沿いの緑地帯に彼岸花の球根を植えました。

当日は、雨の中の作業でしたが、部会員の他、中学生や親子にも参加していただき、楽しく作業することができました。



【薬草の里づくり】

日向市から委託され、薬草の試験栽培を本格的に行い始めて3年目を迎えました。

今年は、初めてローズマリーとコモンセージの収穫を行い、サンプル用として製粉した製品を、ハーブ茶販売業者や髪染め開発業者等に送付しました。また、ハトムギとホーリーバジルも収穫し、ハーブ茶として加工を行い、販売する予定にしています。



どの発表も魅力的なものばかりでした。日向ドラゴンアカデミーは、来年度も実施予定です。興味のある方はぜひお申込みください。



■優秀賞・松浦健二さん
「移住促進と働き方のアップデート」
「地域活性化賞」鈴木美南さん
「へべすを食卓に！〜日向へべすを生かしたレシピの考案と実践〜」



詳しくは、公式 Web サイトへ

日向ドラゴンアカデミー

検索



「夢プレゼンテーションin日向」を開催しました！

10月27日（土）、日向市文化交流センターで、日向ドラゴンアカデミー「夢プレゼンテーションin日向」を開催しました。これは、ドラゴンアカデミーの受講生が自ら立てたビジネスプランや、プラン実現に向けて行った取り組みとその成果について発表する、プレゼンテーション大会です。今回は、塾生18名のうち、8名の方が発表を行いました。

～発表タイトル・発表者～

	発表タイトル	発表者
1	女性活躍！みんなと子育て整骨院	山田 安貢
2	へべすを食卓に！ ～日向へべすを生かしたレシピの考案と実践～	鈴木 美南
3	Tan Ken.	廣瀬 諒二
4	日向市専用焼酎をつくる。	甲斐 慶太郎
5	移住促進と働き方のアップデート	松浦 健二
6	ひとり親家庭に楽しく生きる環境を	黒木 萌
7	生産者から始める 持続可能な日向人総活躍社会作り	鈴木 宏明
8	日向あおぞらマーケット ～「リラックスタウン日向」への新提案～	魚住 和弘

お問い合わせ：日向市地域コミュニティ課

TEL 0982-52-2111(内線 2235)

ホストタウン事業「おしゃべり DE 国際交流」開催！

10月13日（土）、日向市文化交流センターで、ホストタウン事業「おしゃべり DE 国際交流」（主催：日向市国際交流まちづくり推進協議会）を開催しました。このイベントは、ワインやオードブルなどを囲んで参加者同士の交流を楽しみながら、日本人・外国人による発表を聞いて、世界の文化について学ぶもので、毎年、参加者から好評をいただいているイベントです。今回は、本市が2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける、アメリカのホストタウンとして登録されたことをより多くの方に知っていただく機会とし、ホストタウンに関する発表や展示も織り込んで実施しました。

イベントの参加者は、外国人9名、日本人63名の計72名で、会場は大いに賑わっていました。外国人による発表では、門川高校ALTのパ・チア・ジョンさんによる「モン族」についての発表や、市内在住のコーリ・ボスウェルさんによる「ジャマイカの言語」についての発表がありました。日本人では、市総合政策課の中田宏さんによる「ホストタウン」についての発表、松葉國正鍛刀場の富岡慶一郎さんによる「日本における刀文化」についての発表がありました。イベントでは、発表内容に関連するクイズ大会も行われ、参加者たちは非常に楽しんでいました。



外国料理体験を行いました！

8月19日（日）、日知屋公民館で「作ってみよう！外国料理」（主催：日向市国際交流まちづくり推進協議会）を開催しました。このイベントでは、アメリカで夏によく食べられる料理3品（海老とニンニクのレモンパスタ、人参しょうがスープ、ピーナッツバタークッキー）を作り、試食を行いました。

今回は、市国際交流員のキャメロンに加え、市内在住のクリス・ゴールデンさんを講師としてお呼びし、調理

の補助を行っていただきました。参加者は、外国人8名、日本人13名の計21名で、4グループに分かれて調理を行いました。どのグループも、調理しながら和気あいあいと交流を楽しんでいました。

すべての料理が完成したら、いよいよ試食の時間です。どの料理も簡単に美味しく作れて、参加者は皆、「ぜひ家でも作りたい！」と口をそろえて言っていました。また、イベント後に行ったアンケートでは、日本人の参加者から「会話力をつけて、また参加したい」という声もあり、モチベーションを上げるきっかけにもなったようです。皆さんも、ぜひ今後の国際交流イベントに参加してみてくださいね。



日向市ひまわり基金事業 市民活動助成事業

公益的な市民活動に取り組む団体の活動を促進するため、市民活動団体が市内で行う「まちづくり・人づくり・ものづくり・学習会」等に対して、経費の一部を助成します。

助成額

最大 **15** 万円

助成率

対象経費の **3/4** 以内



【問い合わせ先】

日向市ひまわり基金事業推進協議会事務局

TEL：0982-52-2111（内線 2234） FAX：0982-54-8747

※詳しくはお問い合わせいただくか、市の HP をご覧ください。

「地域と市民活動フェスタ」のご案内

パネル展示や発表を通して、市民活動を市民の方に広く知っていただくためのイベントです。展示コーナーやお楽しみ抽選会、フードコート等たくさんの企画をご用意しています。みなさんのご来場を心よりお待ちしております。

平成31年

日時

2月24日 日 9:45~15:00

場所

日向市文化交流センター



【問い合わせ先】

日向市男女共同参画社会づくり
推進ルーム協議会内

地域と市民活動フェスタ実行委員会

TEL：0982-50-0300 FAX：0982-50-0301

日向市 協働のまちづくり

検索

発行／平成30年12月1日
日向市 総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL 52-2111(内線2236) FAX 54-8747

協働のまちづくり ニュース 12月号